



## 中央検査部



## スタッフ紹介

医師名【役職】		出身大学/取得年	専門分野	資格等
かわむら まさよ 川村 真代 【部長】		千葉大学 1987年	血液内科 内科一般	インフェクションコントロールドクター (ICD)



### 特色 1

- 検体検査は24時間体制で、迅速な結果報告を行っています。
- 臨床検査技師が外来採血室にて採血を実施しています。採血や検体採取に関わることで検査の質の向上に努めています。
- 当院は『検体検査管理加算Ⅳ』を取得しています。年3回の外部精度管理に参加し、正確な臨床検査データの報告に努めています。
- 超音波検査(心臓・腹部等)、脳波、終夜睡眠ポリグラフ検査(PSG検査)等の生理検査、細菌検査、病理細胞診検査を院内で検査しています。
- 認定輸血検査技師、認定超音波検査士、細胞検査士の認定資格者を中心に検査の質の向上に努めています。
- 新型コロナに対応し、院内で抗原検査だけでなくLAMP・PCR検査も実施しています。



### 特色 2 (チーム医療への参加)

- 医療機器の操作オペレーターとして、心臓カテーテル検査や神経・血管外科手術に検査技師も参加しています。機器操作に習熟した技師がチームに参加することで、医師が検査や手術に集中できるようになっています。
- ICT(感染管理チーム)、NST(栄養サポートチーム)に参加し、専門的な情報提供によって医療の質の向上に努めています。当院は厚生労働省院内感染対策サーベイランス事業(JANIS)に参加しています。
- 医師の働き方改革に伴う臨床検査技師のタスクシフト・シェアとして、2022年4月より内視鏡室の介助業務にも参加しています。



### 特色 3 (検査データの活用)

- MRSAの遺伝子型検査(POT法)による院内感染防止  
MRSAの遺伝子型検査によって、同一株のクラスターの早期発見と、ICTが早期介入が可能となり、MRSAの院内伝播の防止に役立っています。
- 輸血用血液製剤の管理と、輸血症例のデータの活用  
輸血の前後の検査データを集計し、輸血用血液製剤の使用状況と問題点を的確に把握、血液製剤の適正使用に努めています。

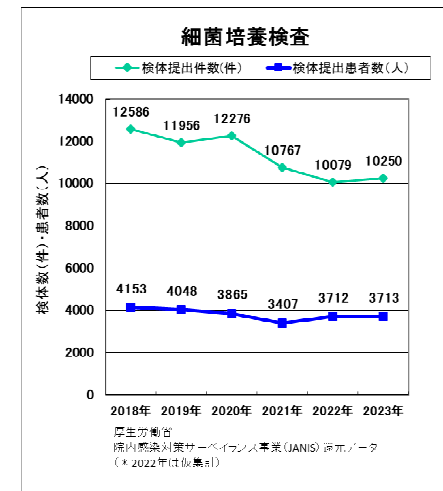


### 検査実績

#### 2023年検査実績

2023年1～12月

項目	合計
生理検査	53,534
生化学Ⅰ	1,920,092
生化学Ⅱ	118,397
血液検査	360,393
免疫検査	233,529
微生物検査	44,704
尿一般検査	66,583
病理検査	13,155
負荷等	1,279



### 新型コロナ検査実績(2023年)

